

授業科目名	基礎ゼミナール (2100308)		
時間割名	基礎ゼミナール (51114)		
時間割担当	原口忠之		
実施期	通年	単位数	2 必修
曜日・時限	金・1		

授業の目標・概要

基礎ゼミナール において身につけてきた文献購読による内容やアカデミックスキルを活用して、より幅広い文献や資料にあたることによって、自らの専門知識や学士力を深化拡充していく。次年度の人間教育学ゼミナールにおいて自らの専門領域を決定していくために、文献購読会や研究報告会などを繰り返し設定していく。

学習の到達目標

- ・課題を発見し、探求し、解決する手法を考えて実践する
- ・論理的な構成で、説得力のある発表を行う
- ・グループ討議や相互批評を通して、アカデミックスキルを高める

授業方法・形式

- ・2回生クラス担任団が共同して指導を行う。必要に応じて、クラス内の4~5名程度の小グループを組織する。
- ・具体的なテーマを設定し、学生自身が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・調査、観察などを含む情報収集方法、ブレインストーミング、プレゼンテーション、意見交流など多様な活動を行う。

授業計画

- 第1回 ガイダンス(1)：履修カルテの配付、各種説明等
 第2回 ガイダンス(2)：教職センターから教育実習についての説明会
 第3~8回 アカデミックスキル：各種記事・小論文からレジュメ作成・発表/履修カルテ指導
 第9・10回 ディベート
 第11回 学力テスト
 第12~14回 プレゼンテーション(1)「私の未来地図」準備及び発表
 第15回 後期に向けた目標設定
- 第16~25回 自己PR文に向けた準備・作成・添削指導等/履修カルテ指導
 第26回 人間教育学ゼミナール仮説明登録説明
 第27~29回 プレゼンテーション(2)「私の学びのカルテ」準備及び発表
 第30回 まとめ・これまでの振り返り

毎回の冒頭には小テストを実施(例外あり)

成績評価の基準

積極的な授業参加、プレゼンテーション、課題・レポート等を総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

大学での授業は、自ら考え、疑問や問題点を整理することが、これまで以上に求められる。学校教育や教師としてのあり方等について、普段から見識を高めるようにすること。

人間教育学ゼミナールに向かう取組の主体は各個人となる。ただし、その内実を深めるために、授業時間外においてもグループ討議を積極的に行うこと。

履修上のアドバイス及

大学での授業は、既存の知識を「覚え」「正解を導き出す」ことだけではありません。自ら考え、疑問や問題点を整理し、それを解決するための方法を模索することが大切です。「基礎ゼミナール」では、こうした研究に取り組むとき必要な「アカデミック・スキル(Academic Skills)」を学習します。人間教育学ゼミナール における研究を続けていくために必要なことを学び、着実に研究のステップを歩んでいくことを期待します。

教材・教科書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。